

「心臓発作を起こした人」などを救うAED(自動体外式除細動器)が各所に整備され始めました。小学校体育館、生協、そして東公民館にも。多くの人が取扱えるようにしたいですね。

敬老会 今年も参加者が増える中で

9月17日(紅葉が丘地区は16日)、昨年に続き、6地区に別れ、それぞれに自治会・老人クラブの皆さんが出し物やおもてなしの工夫をして開かれます。

マジック、コーラス、お琴、ハーモニカ、講演・・・など、ボランティアでご協力いただく皆さんもこの時ぞ！と張り切っています。どうぞお楽しみに。 □■

猛暑の夏祭り2題



8月11日@東小

かき氷:1000超
とうもろこし:616本
金魚も完売！
来年はカラオケ大会
ヤッテ！というほど
に賑わいました。
中越沖地震義援金
にも 33,258 円。皆
さん、ご協力ありが
とうございました。

障害者の方は、中学生～年配のボランティアの皆さんに支えられ手作りの夏祭りを楽しみました。自分たちも「千の風」などを演奏披露しました。⇒



8月26日@はなみずき苑

防災訓練 近隣助け合いこそ防災の基本

——桜台支部長・今井 澄夫さん

9月1日は、防災の日。岐阜市でも先日、総合防災訓練が行われたが、最近、各地で大地震が続いているので、あらためて我々の防災訓練を振り返りたい。

6月10日は、かなり激しい雨に見舞われたが、予想を超える216名の方が集まれ、皆さんのご協力で、円滑に訓練を終えることができた。今後の留意点は；

1. 激しい降雨のため、広報車や桜台備え付けの拡声器による地域住民への呼びかけは、声が小さかったり、消えたりして不十分であった。
2. 公園での皆さんへの呼びかけ・指示もメガホンでは声が届かず不十分で徹底を欠いた。
3. 乾パンの配布は、初めての試みだが、半券を忘れた方が多く、多少混乱したが概ね好評だった。
4. 中越沖地震では建物の倒壊で圧死したり、行方不明になられた方があったが、各町内の正確な人数や居住状況を把握する必要はないだろうか？

災害と近隣助け合い標語をお考えください。

阪神大震災で、多くの命は誰が救ったのでしょうか？
ご近所の方でした-60.5%。10月1日までに東公民館
ポストへお届けください。主催:社協・自治会連合会

安全と地域交流 子どもの事故に思う

——桜台支部の方より

時々、東小学校の下校時に車で坂を下りていくと、郵便局前の信号近くで、子どもたちの安全を見守ってくださるボランティアの方(男性)を目にします。信号が赤になると、学校の方から下りてきた子どもたちがその周りに立ち止まり、青になるのを待っています。

その間、子どもたちはその方と話をしたり、手をつないだり、おんぶする格好をしたり、どちらもニコニコと楽しそうです。こちらほのぼのとした気持ちになります。

ところで、夏休みに入る前日、他地域で小学生が校門前で中年の男に刺されるという事件がありました。事件・事故はいつでもどこで起きるか分かりません。この地域でも不審者を見たとか、心配になる話も聞きます。

大人が子どもを様々な事故から守るという大切な役割を、学校や家庭とは別に、地域のボランティアの皆さんにもやってもらえることは、地域の大人と子どものコミュニケーションもできて、とても意義のあることだと思っています。 □■

事故防止 一人ひとりが飲酒運転根絶へ

——交通安全協会芥見東支部長・宇野 美智雄さん

昨夏の福岡での痛ましい事故を受けて、飲酒運転の罰則強化と新しい規定が9月中にも施行されます。

例えば酒酔い運転:懲役最高5年または罰金100万円

当人はもちろんのこと、車両を提供したり、酒類を提供したり、同乗しても厳罰が科せられます。

芥見地区の飲食店でも“アレ？誰が運転するのだろうか？”という場面を見かけますが、あなたは大丈夫？

市民運動会 今年はかなり変わります

高齢化で、「選手集めが大変！」、「競走なんてとてもとでも」、「皆で楽しめるように」、「せつかくの機会だから防災訓練も」・・・、という昨年までの反省を踏まえて、主管の体育振興会を始め、老人クラブ、赤十字奉仕団、身障者協会に知恵を絞っていただきました。

グランドゴルフ、三角巾競走、大声競争、玉入れ、綱引き、車椅子疑似体験競走など、皆で気軽に楽しみ、災害や障害も身近に体験する種目を主体にしてプログラムは組まれます。

10月14日(日)芥見東
小グランドで開かれます。

